



15years

復興・創生 その先へ

Recovery, Revitalization - Moving Beyond

復興庁 Reconstruction Agency

浜通り復興リビングラボ

～サイエンス x 官民共創まちづくり～

令和8年2月18日

Crevaおおくま

復興庁

福島広域まちづくり班

参事官 山上 俊行

浜通り復興リビングラボ ～サイエンス×官民共創まちづくり～

背景・目的

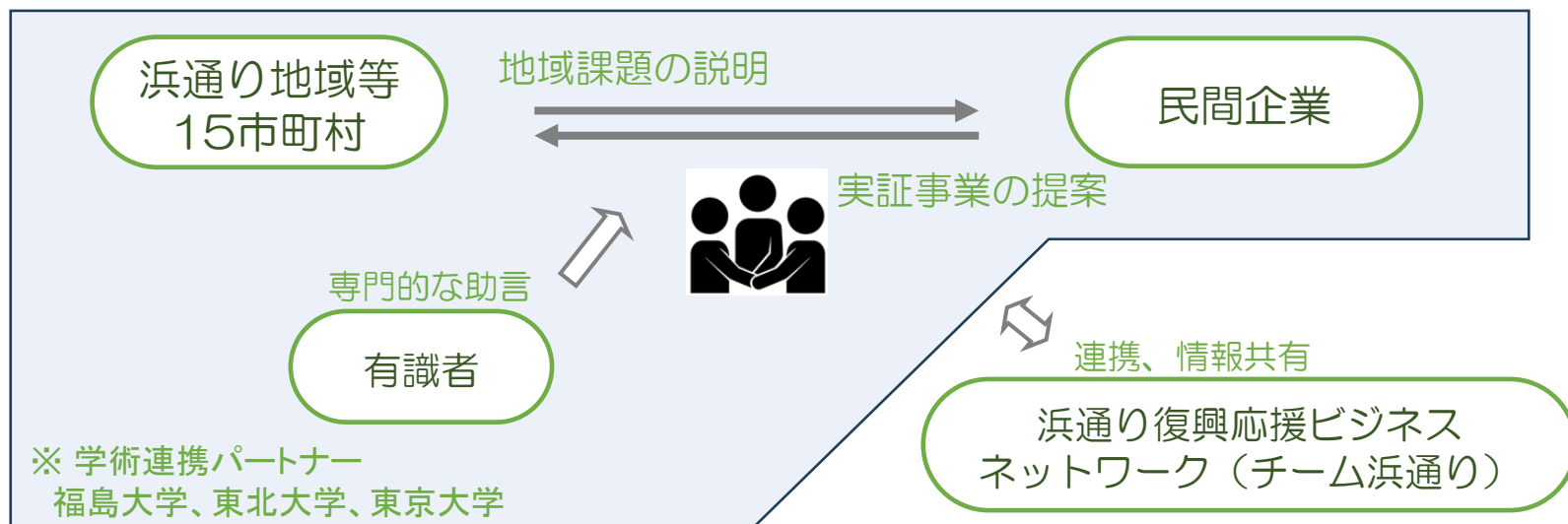
- ・ 浜通り地域等の復興・再生に向けて、住民の帰還、移住・定住の促進が課題
- ・ 福島国際研究教育機構(F-REI)の立地により、研究者・職員等の移住・定住の増加も見込まれる
- ・ 住民の帰還や研究者等の移住・定住の促進のため、生活環境の向上が一層求められる
→ **生活環境の向上に向けて、民間の技術等を活用し、官民共創型の実証事業を実施**

浜通り復興リビングラボ

浜通り地域等15市町村において、生活環境の課題解決に向け、民間の最先端の知見や技術、ノウハウを活用し、企業・市町村が連携して、令和5年度から実証事業を実施

※リビングラボ：生活の場（リビング）を実験場（ラボ）としてイノベーションを実践すること。

（自治体の課題・悩みをお聞きし、民間企業につなぎ、マッチングを実施）



浜通り復興応援ビジネスネットワーク（通称：チーム浜通り）

【目的】リビングラボ事業等を通じて、福島県浜通り地域等における復興の状況や復興施策など情報共有しながら、会員間での連携を推進する。

【パートナー：計12機関】福島国際研究教育機構（F-REI）、福島県、福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島相双復興推進機構、経済産業省、環境省、UR都市再生機構、NEXCO東日本、Ag Venture Lab、メタバース推進協議会、講談社、ドリームデザイン

【学術連携パートナー：計3機関】福島大学 地域未来デザインセンター、東北大学 グリーン未来創造機構、東京大学 先端科学技術研究センター

【会員企業：計49社】※赤字はR7年度実証事業実施企業、青字は過年度実証事業実施企業

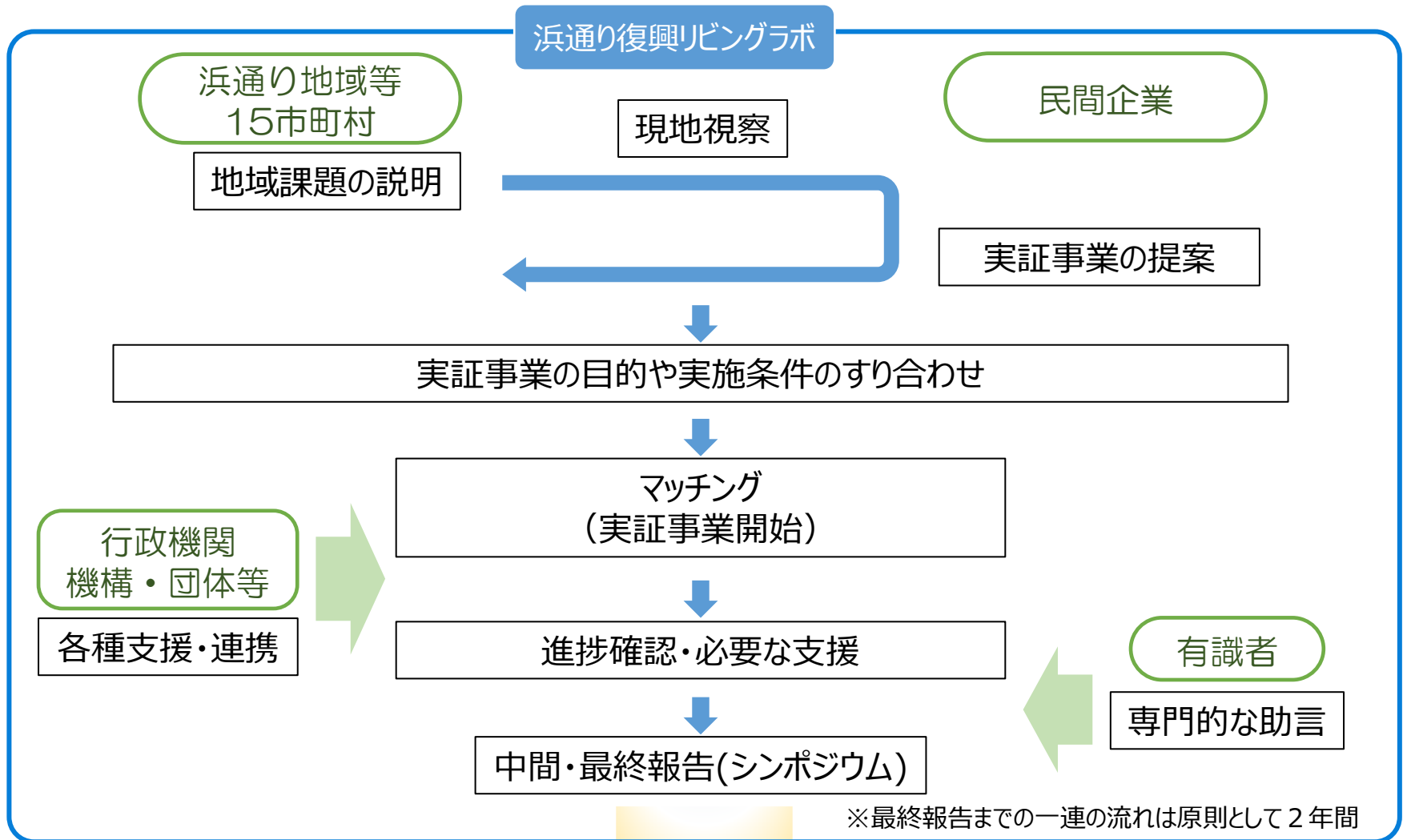
（R8.1.8時点版）

業種	社名
情報通信業・ITサービス	
	(株)ウェザーニューズ
	NTTインフラネット(株)
	(株)NTT-ME (NTT東日本グループ)
	(株)ガバメイツ
	キュレーションズ(株)
	国際航業(株)
	(株)ゼンリン
	ソフトバンク(株)
	大日本印刷(株)
	(株)DeNA
	(株)電通総研
	TOPPANデジタル(株)
	MONET Technologies(株)
	(株)URシステムズ
サービス業	
	カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)
	(株)博報堂
	(株)ベネッセコーポレーション
	(株)ヤママップ

業種	社名
建設業・住宅	
	會澤高圧コンクリート(株)
	大林道路(株)
	首都高技術(株)
	首都高速道路(株)
	大成建設(株)
	大和ライフネクスト(株)
	(一財)日本みち研究所
	パナソニックホームズ(株)
	(株)フジタ
コンサルタント業	
	(株)アバンアソシエイツ
	(株)NTTデータ経営研究所
	(株)オリエンタルコンサルタンツ
	(株)キャドセンター
	(株)構造計画研究所
	デロイト トーマツ コンサルティング(同)
	デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザリー(同)
	(株)ふたば
	ランドブレイン(株)

業種	社名
医療・ヘルスケア	
	(株)アルム
	MBTリンク(株)
	SOMPOケア(株)
農業・環境	
	(株)フェイス
製造	
	コドモエナジー (株)
	ローテックメディカルジャパン (株)
その他	
	(株)Urth
	住友商事(株)
	(株)スマートアグリ・リレーションズ
	(株)チェンジホールディングス
	東京海上日動火災保険(株)
	(株)トラストバンク
	(株)マシヒロ

実証事業実施の流れ



生活環境の向上に向けた取り組みにつなげていく

浜通り復興リビングラボ【令和7年度 実証事業】

令和7年度は9市町村にて12民間企業による10実証事業を実施

R6年度開始事業

【相馬市、浪江町×大日本印刷】

ドローンによる撮影やデータ分析等を活用した
獣害対策の支援

【南相馬市×大日本印刷】

服薬サービス事業（ドローンによる調剤配達・
遠隔地での服薬管理サポート）

【広野町、浪江町×フェイス】

カーボンプレジットを活用した脱炭素型・
高収益稲作体系の検証と普及

【いわき市、川内村、浪江町×Agnavi】

日本酒一合缶による地域産品の発信

【いわき市×NTTデータ経営研究所】

自治体職員のまちづくりマネジメント力向上のため
の研修プログラム開発

【いわき市×首都高速道路、首都高技術、 セーフィー】

道路パトロールシステムを活用したインフラ管理
支援

R7年度開始事業

【いわき市、川俣町、浪江町×マスヒロ】

電動モビリティの二次交通としての有効性検証

【いわき市×ローテックメディカルジャパン】

ポータブルエコーとエクササイズを組み合わせた
フレイル予防プログラムの開発

【いわき市、楢葉町、川内村、大熊町、 浪江町×コードモエナジー】

電源を必要としない蓄光プレートを使った
獣害対策の支援

【浪江町×フジタ、ふたば】

ドローン・画像解析技術を活用した高線量下での
森林・林道管理の効率化



区域

- 特定復興再生拠点区域(解除済み)
- 帰還困難区域
- 避難指示解除区域

令和7年度実証事業実施市町村

過年度実証事業実施市町村

浜通り復興リビングラボにおける復興庁の取組

- 自治体へのヒアリング等を通じた地域課題の把握
- 企業からの提案を促すための地域課題の周知や現地見学機会の提供（現地ツアーの実施等）
- 実証フィールドとなる自治体や地域の事業者との協力に向けた調整
- 大学等の有識者や支援策を所管する機関への協力要請 等

地域課題の理解促進の取組（現地ツアー）



大熊町役場職員より現地に於て住宅、福祉施設等の現状を説明



浪江町スポーツセンターにて現地ツアー参加企業と町職員で意見交換

自治体、地域の事業者との調整



フレイル予防をテーマとした実証事業の受け入れについていわき市内の介護サービス事業者と調整（復興庁・市職員も同席）



獣害対策をテーマとした実証事業の実施計画について地元農家・浪江町職員・有識者・復興庁職員が現地で確認

大学等との連携



医療創生大学の有識者からフレイル予防に係る実証事業の記録や評価手法について助言



福島大学の有識者から獣害対策に係る実証事業の記録や評価手法について助言

15years

復興・創生 その先へ

Recovery, Revitalization – Moving Beyond

復興庁 Reconstruction Agency

ご静聴ありがとうございました。